

平成19（2007）年6月吉日

神戸大学土木地盤系卒業生の皆様へ

「暁木地盤の会」の設立趣意書ならびに第1回会合のご案内

謹啓

神大土木地盤系の研究室を卒業された皆様には、多方面でご活躍の事と存じます。卒業してから一度も母校を訪れる機会がなく、学生時代の学舎や旧友を懐かしんでおられる卒業生も数多くおられることでしょう。

さて母校では、平成19年4月、教育研究組織の改組に伴い、従来の自然科学研究科は4つの研究科に分離して、工学研究科(<http://www.eng.kobe-u.ac.jp/>)が誕生しました。また、都市安全研究センターは同時期に設立された新組織である自然科学系先端融合研究環(<http://www.oast.kobe-u.ac.jp/introduction/index.html>)に参画しました。いよいよ、最先端の研究を重視した工学系大学院大学として船出しました。さらに、これまでの「建設」・「土木」の専攻・学科名に代わって、「市民工学専攻」、「市民工学科」(<http://www.shimin.eng.kobe-u.ac.jp/>)が新たに誕生しました。

言うまでもなく、地形学・地盤工学・土質力学は、自然の産物である地盤と自然現象を相手にするため、土木の他分野と比較しても学問の体系化および工学的な最適解を見出すことがなかなか容易ではありません。よって、地盤の第一線のプロとして長く活躍するためには、最先端の研究・技術情報の恒常的な収集が大事になってきます。一方、大学の学部教育においても教育のISOとも言うべきJABEEの審査基準の一つに、幅広く卒業生の意見を反映して継続的な教育改善に取り組むことが要求されています。

そこで、年に一度、地盤系研究室の卒業生が母校に集まり、地盤工学の最新の研究・技術情報を共に勉強するとともに、現役学生を含めた同窓生の交流を深めることを目的として標記の会を設立しました。

このような趣旨をご理解頂いた上で、地盤工学に関する最新の研究・技術情報にご興味のある方、仕事上の様々な悩みを職種あるいは企業の壁を超えてフランクに相談できる場と人との出会いを求めておられる方、なかでも、次世代の地盤工学を担う卒業後20年程度までの若手の方々の多数のご参加を切望しています。なお、地盤系卒業生以外でも、現在、地盤を対象として仕事や研究をされていたり、地盤に興味をお持ちの暁木会会員をご存知であれば、積極的に声をかけていただき、一緒に勉強できればと考えています。

つきましては、第一回目の会合を改装された学舎において別紙の要領で企画しましたので、周辺の方々にも幅広くお声がけ頂き、気軽にご参加下さいますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り致します。

敬白

「暁木地盤の会」設立発起人一同

問い合わせ先： 澁谷 啓

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1 神戸大学工学部市民工学科

TEL 078(803)6023

e-Mail: sshibuya@kobe-u.ac.jp

発起人（敬称略）

●神戸大学土木地盤系教員

飯塚敦，上西幸司，沖村孝，加藤正司，河井克之，澁谷啓，田中泰雄，鳥居宣之，吉田信之

●神戸大学卒業生有志

伊集院道成(7)，萬水洋光(8)，瀬川栄治(9)，中村武功(10)，秦登志夫(12)，遊川建三(14)，野田耕(15)，三好一(16)，金澤保文(17)，石井陽一(18)，樋口晶規(19)，小林育夫(20)，中村潤一(20)，浜口哲男(22)，小野晃(22)，岩崎哲雄(24)，白石良三(24)，亀山剛司(25)，河野雄造(26)，京極祐一(26)，池尻勝俊(27)，太田順(28)，大門芳一(28)，森下恭尚(28)，菊川雅之(30)，大西勝則(32)，西尾宜男(32)，松尾進吾(34)，榎木菌聖司(36)，平川和之(38)，土井基弘(38)，福田雅人(40)，大久保博(41)，浅田昌蔵(42)，片山 政和(C96)，野並賢(C96)，瀬口均(C98)，吉田晋暢(C99)，流田寛之(C00)，小羽根憲司(C02)，杵本和彦(C02)，千代原正典(C04)，大藪剛士(C06M)，岡本弘史(C06)

別紙

「暁木地盤の会」第一回会合

場所：神戸大学瀧川記念学術交流会館(<http://www.kobe-u.ac.jp/info/access/rokko/bun-ri-nou.htm>)

日時：2007年8月31日(金)

勉強会(瀧川記念館大会議室：18:00-19:00),

交流会(瀧川記念館食堂：19:00-21:00)

講演：多面体の地盤工学－沖村孝教授(自然科学系先端融合研究環都市安全研究センター)

